

第73回国民体育大会広報紙vol.3 [2018.2月]

THE 73rd
NATIONAL SPORTS FESTIVAL
2018 IN FUKUI



福井国体 2018

チームふくい対談「体操編」
魅せる力を！

大会愛称・
スローガンが決定！

「空手道」ピックアップ
正式競技

写真で見る1968福井国体②〈競技編〉

マスコットキャラクターデザインを募集中！

大会愛称・スローガンが決定!

大会愛称……「福井しあわせ元気国体」

幸福度日本一といわれる福井県で、県民の元気と創意を結集し、しあわせを感じ、元気があふれる国体を創り上げます。県民みんなで全国からの参加者を温もりの心でもてなし、交流を通じて、しあわせと元気を全国に発信します。

スローガン……「織りなそう 力と技と美しさ」

選手は持てる力と技と美しさを、福井県が誇る織物のようにタテ糸とヨコ糸に織りなし、競技に全力を尽くします。県民一人ひとり「する」「みる」「支える」のそれぞれの立場で国体に主体的に参画します。これにより相互につながりを深め、みんなで感動を共有できる国体にしよう、という想いを込めています。

第73回国民体育大会(2018福井国体)の大会愛称・スローガンを、平成24年4月下旬から約2ヵ月間、県内在住者や県内の学校卒業生などを対象に募集。大会愛称に7,441件、スローガンに7,373件の応募をいただきました。審査は国体福井県準備委員会において厳正に行われ、11月13日に決定しました。

大会愛称	
最優秀賞	「福井しあわせ国体」 ◎入賞者／仲橋祥子さん(福井市) ※この作品には24名の応募があり抽選で入賞者を決定しました。
	「ふくい元気国体」 ◎入賞者／安野泉さん(坂井市) ※この作品には3名の応募があり抽選で入賞者を決定しました。

スローガン	
最優秀賞	「織りなせ。力と技と美しさ」 ◎入賞者／小森通子さん(福井市)
優秀賞	「恐竜も駆けた大地ぞ 走れ跳べ」 ◎入賞者／中村継夫さん(永平寺町)
優秀賞	「とどけよう熱い思いを福井から」 ◎入賞者／濱野克則さん(越前町)



「ぎふ清流国体」で本県が天皇杯24位!

平成24年9月29日から10月9日まで行われた第67回国民体育大会「ぎふ清流国体」。福井県勢は40種目で入賞し、天皇杯(男女総合)で916点を獲得。順位は前回の30位から6つ上げて24位となり、目標としていた20位台を見事に達成しました。来年度からの目標は10位台。さらなる強化と底上げが求められます。

入賞者一覧

種目	性別	種目	選手名	順位
陸上	成年男子	800m	牧野康博	2位
	成年女子	400mH	野村有香	6位
	少年男子B	110mH	熊谷成将	7位
	少年女子A	100mH	川村涼伽	6位
	少年女子共通	棒高跳	宮川海峰	3位
テニス	少年女子	団体	林恵里奈、玄田紗也果	1位
ボート	成年男子	シングルスカル	濱上裕士	7位
		舵手つきフォア	中嶋睦、荒木祐作、長田福馬、鹿谷敬祐、河下拓磨、田中雅人	1位
	成年女子	シングルスカル	窪可奈子	4位
		ダブルスカル	今井智子、竹村彩香	3位
	少年男子	舵手つきクオドルブル	松倉ちづる、津田佳保瑠、納田麻妃、松井綾可、河原咲、吉川文恵	2位
		シングルスカル	和多田大樹	6位
	少年女子	ダブルスカル	武田和樹、出口斗紀哉	2位
		舵手つきクオドルブル	田辺昂大、武田朋也、志賀巧、大崎翔平、高木利也、高田直生	5位
	少年女子	シングルスカル	藤井早稀	4位
		舵手つきクオドルブル	村上陽香、村松奈織、吉川仁恵、武長結奈、馬野梨央、常磐菜々子	4位
ホッケー	少年男子	団体	國友督仁、高田知樹、大井大輔、上野悠輔、松山洋輔、森原雅弘、青山力也、竹内優斗、宮崎俊哉、馬谷圭介、戸田真人、富田竜平、近藤辰徳	3位
	少年女子	団体	西川遥花、中村莉緒、高橋明日香、土井友貴、齊藤晴香、柴捺希、三谷優姫、桑原寿々奈、佐々木明、吉川薫、木村友美、野村珠久、小林葉月	3位

種目	性別	種目	選手名	順位
体操	成年男子	団体	石川大貴、鬼塚翔太、榊原颯太、松岡龍介	6位
	少年男子	団体	川本駿馬、宮地秀享、竹中貴一、杉野史典	3位
レスリング	成年男子	F120kg級	西田耕一郎	5位
	少年男子	G60kg級	笠川良太	5位
セーリング	成年女子	シーホッパー級スモールリグ	藤井あゆ美	8位
ウエイトリフティング	成年男子	105kg級ジャーク	竹原義将	8位
ハンドボール	成年男子	団体	廣瀬騎優、切越巧也、桜井涉、杉山卓也、落合信也、小川俊、山原佑太、赤塚孝治、佐々木喬也、柳田亮介、有江啓	5位
	少年男子	団体	友兼尚也、西口広、細川智晃、大橋慶、佐藤智哉、白石裕恒、高橋駿介、木村辰吉、笹川泰平、牧野誠也、田中圭、宮下貴司	5位
自転車	成年男子	1KMTT	碓優太	3位
	少年男子	ロード・レース	井上和郎	1位
	男子	4km団体追抜	碓優太、中島康晴、井上和郎、廣瀬元輝	7位
馬術	成年男子	スピード&ハンディネス	寺崎浩平、小林郁弥、末本周平、中川勝貴	1位
	少年	スピード&ハンディネス	吉村英喜、西村瑞希	6位
ソフトボール	成年男子	団体	山本逸平、村上章平、藤田継幹、山崎均、岩本憲史朗、中嶋祐介、中嶋佳大、高田義久、伊藤豊晃、豊永諒、小林孝浩、川端将貴	3位
ライフル射撃	成年女子	10mP40W	冬木翔子	3位
	少年女子	BP40JW	生島彩夏	3位
剣道	成年女子	団体	道内由佳里、山田聖子、高嶋寿美	4位
カヌー	成年男子	WWK-1 1500m	國京健二	3位
	成年男子	WWK-1 スプリント	國京健二	4位
ボウリング	成年女子	団体(4人)	今村佳代子、松原恭子、高木則子、辻容子	5位

写真で見る1968福井国体②〈競技編〉



バスケットボール(高校男子)2回戦



ホッケー(一般女子)決勝戦

福井県勢が輝かしい成績を残した大会でもありました。優勝した競技は、ホッケー、体操、バスケットボール、軟式野球、馬術、ソフトボール、剣道、高校野球の8競技にのぼります。



剣道(一般男子)決勝戦



高校野球(硬式)決勝戦

チームふくい対談「体操編」

「メダルをとって福井国体に臨みたい」(川本選手)

「常に試合を想定した練習を」(小竹氏)

福井国体で活躍が期待される川本稜馬さんと、福井の体操を引っ張ってきた小竹理事長が対談!



小竹 川本君、ぎふ清流国体ではお疲れ様でしたね。団体3位という見事な成績でしたが、自身としてはどう受け止めていますか?

川本 納得はしていません。優勝したチームとの間には、とても大きな差があったように感じました。同じ技を繰り返していても、高さがあったり、着地が美しかったり。私たちのチームが「一生懸命の演技」としたら、優勝チームは「魅せる演技」をしていたように思います。この差を埋めるには、今まで以上に濃い練習を行っていかないとダメですね。私は先日、順天堂大学への入学が決まったので、さらなる向上を図りたいです。

小竹 大学では、ぜひレベルの高い環境を

活かして頑張ってください。先日、アテネオリンピックで活躍した塚原直也氏が来県された際に「一番大事なのは、本番で自分の力をすべて発揮できること」と話されていました。そのため塚原氏は、常に試合を想定した練習をしているとのことでした。「魅せるため」「減点をしないため」の練習だそうです。川本君にも、塚原氏のような志で取り組んでもらいたいですね。

川本 ありがとうございます。大学4年の時にはリオデジャネイロでオリンピックが開催されますから、ぜひ出場して、メダルを獲りたいです。

小竹 良い意気込みです。オリンピックの2年後には、福井国体も控えています。

川本 福井国体に対しては、特別な想いが

あります。自分がここまで成長できたのは鯖江体操スクールの先生や、家族・友人・知人を含めた応援してくれる地元の方々のおかげ。福井国体を盛り上げ、良い成績を残して、恩返しをしたいです。

小竹 この鯖江市の立待体育館で成長した川本君を見ていると、とても感慨深いです。実は、前回の福井国体開催の、ちょうど3年前から私はチームの指導にあたりました。あれから、さまざまな方のご尽力や地元の支援があって、今に至っているのです。今後も鯖江が中心となって、体操の素質を持つ子どもたちに、可能性を伸ばせる環境を与えていけることを願っています。



◎プロフィール



かわもと しょうま
川本稜馬選手(18歳)
鯖江高等学校3年。平成24年、ぎふ清流国体少年男子団体3位。同年、第28回全国高等学校体操競技選抜大会男子個人総合優勝。全日本ジュニア体操競技選手権大会男子1部団体総合6位、男子1部個人総合15位。(表紙写真)



こたけ とみこ
小竹登美子氏(70歳)
昭和40年、中京大学体育学部体育学科卒業。同年、福井県体操協会理事就任。現在、福井県体操協会理事長兼事務局長。理事就任時より、長年、福井県の体操選手育成に尽力。

●基本的なルール

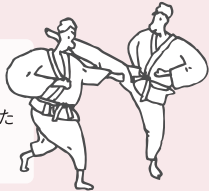
相手との実戦を行う【組手競技】

実際に相手と技の攻防を行う実戦形式で行われます。相手の体に当たる寸前で技を止めること(寸止め)を大前提とし、勝敗は2分間(成年男子のみ3分間)に8ポイント差がついた時点で決まります。同点または得点がなかった場合、引き分けとなり、新たに1分間の競技を行い、勝者を決定します。また、各県5人による団体戦も行われます。

◎得点方法

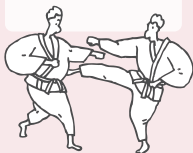
一本(3ポイント)

- ・上段蹴り
- ・投げられた、または倒れた相手への得点技



技あり(2ポイント)

- ・中段蹴り



有効(1ポイント)

- ・中段、または上段突き
- ・打ち



形の表現力を競う【形競技】

たくさんの敵に囲まれている場面を想定して、攻撃と守りを一つの流れにしたものです。選手は一人ずつ形を演じ、極めの正確性・気迫・技の緩急などその表現力を競います。

◎形の選定

指定形リストまたは承認されている得意形リストから選択する。各競技で異なる形を演武しなければならない。一度演武された形を再度演武してはならない。

スピードと力強さに興奮！ 垣間見えるのは、 鍛えられた精神力。



●見てころチェック 「技の応酬。込められた気迫」

「組手」と「形(かた)」の2種目に分かれる空手道競技。「組手」の見どころは、何と言ってもスピード感あふれる多彩な技の応酬です。ポイントの高い「蹴り」には、上段回し蹴りやさそり蹴りなどさまざまな種類があります。「突き」は、地道に得点を稼ぐ堅実さが特徴です。「形」は、流派ごとに技の流れや立ち方が異なります。共通するのは、基本に忠実であること。その上で、技の意味を理解し、気迫が込められているかが大切。指先にまで意識の行き届いた美しい姿にも注目です。

●アサリートVOICE 「組手と形、両方で出場したい」

齊藤美羽選手(坂井市加戸小学校5年/上写真) 平成24年北信越小中学生空手道選手権大会 組手形個人優勝

形のわずかなふらつきなど、もう一歩の頑張りが足りないと感じています。現状を乗り越えるのは、稽古しかありません。今、道場以外に家でも稽古をしています。また、組手では常に、相手にポイントを与えず勝つことを目指しています。バランスよく稽古を重ねて、団体には組手と形の両方で出場し、優勝したいです。

●福井県空手道連盟より 「続けられる環境作りが大切」

団体強化担当 山本周子さん

近年、小学生の層が厚くなってきています。しかし、県内には空手道を部活として備える中学校がとも少なく、進学後は続けるのが難しい状況です。今後は、若い指導者を増やすとともに、各中学校に道場での稽古を部活として認めてもらう働きかけを行うなど、空手を続けられる環境作りにも力を入れていきます。

マスコットキャラクター デザインを募集中!

「福井しあわせ元気国体」を盛り上げ、応援してくれるマスコットキャラクターのデザインを募集しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

募集期間 / 3月22日(金)まで

募集内容

- 福井県や大会愛称「福井しあわせ元気国体」、スローガン「織りなそう 力と技と美しさ」に関わりが深く、明るく親しみやすい作品であること
- 競技やボランティアなど、様々なポーズへの平面的なデザイン展開ができること
- ぬいぐるみの製作など、立体化を想定したデザインであること
- 着ぐるみを製作した場合、ダンスや体操などを踊ることができること

応募資格

県内に在住・通勤・通学する方、県内の学校等に在籍・卒業した方

賞

- 最優秀賞 1点(賞状、賞金10万円)
- 優秀賞 2点(賞状、賞金2万円)

広報紙 2018福井国体 vol.3 2013年2月発行

発行 / 第73回国民体育大会福井県準備委員会(事務局:福井県総務部新国体推進課内)

〒910-8580 福井県福井市大手3丁目17番1号 TEL.0776-20-0772 FAX.0776-20-0664 E-mail: kokutai@pref.fukui.lg.jp

ホームページは [2018 福井国体](#) [検索](#)

